

### 運営推進会議等開催報告書

31年 1月 22日

事業所名	グループホーム ガリラヤ久米		
担当者	飛鷹 美知子	電話番号	970-9101

1 開催日時	平成 31年 1月 22日 10:00 ~ 11:30
--------	-----------------------------

2 開催場所	ガリラヤ久米 3F多目的ルーム
--------	-----------------

3 出席者	
(1)	グループホーム(家族)
7 人	"
	小規模特別養護老人ホーム(家族)
	民生委員
	特養ひろたケアマネージャー
	松山市介護保険課
	地域包括支援センター小野久米
(2) 職員	佐々木 信也 理事長
7 人	高橋 雅志 施設長
	上田 稔 グループホーム 計画作成担当者
	二神 靖夫 小規模特別養護老人ホーム 生活相談員
	横山 恵美 小規模特別養護老人ホーム 生活相談員
	和田 久美 小規模特別養護老人ホーム 看護主任補
	森永 有美 小規模特別養護老人ホーム 介護主任補

4 活動状況報告	別紙のとおり
----------	--------

5 活動状況に関する評価	様々な行事、活動をしており素晴らしい。研修についても実演があり分かりやすく、感染予防も徹底している。
--------------	--

6 主な要望、助言等	
①	活動報告スライドは季節を感じられるいろんな活動をしていて楽しそう。スライドで見て実感できた。毎月いろんな行事があり、本人も楽しみにしており良かった。前もって行事予定等が分かるとよい。施設からの郵送物に予定表等が入っているとよい。感染症研修は実演の形で分かりやすかった。場所や利用者の想定、手順もあり、良かった。死亡者、重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合や10名(半数)以上の感染者が出た場合等は市への報第一発見者が新聞をとりあえずは置いて拡散を防ぐところもあるがどうか
②	感染予防徹底しているが、職員の入れ替わりがあった時には事例を伝えたりや研修をするように良い研修だった。施設の中だけでなく地域へ広められるようなものもあれば良いと感じた。家族が嘔吐し、家族内で感染が広がるということも経験したことがある。家でも気を付けていこうと思う。下痢の場合の対応はどうされているか？
③	面会の度に本人の様子をしてくれて安心。ここに置いて本当に良かった。面会のときの報告がありがたい。
④	事故報告、グループホームのヒヤリハットが少ないのでは？ヒヤリハットが出にくい環境でないように注意を。特養の内出血がヒヤリハット報告にあるが、内出血なら事故になるので表記の仕方を検討するように。グループホームの転倒、転倒未遂が多いが同じ利用者か、同じ方がいる場合は対応を考えないといけない。

7 要望、助言に対する考え方	
①	ご家族へ予定をお知らせできるように検討する。吐物への初期対応として新聞等を吐物にかぶせる形を検討する。
②	流行期の研修に加え、中途採用者等への研修体系を検討する。下痢については、下剤、体調等で慢性化しているものか感染によるものかの見極めが困難なところもあるが、スタンダードプリコーションを徹底しつつ、慎重に見極めていく。
④	ヒヤリハットの区分け、表記方法について再度検討する。繰り返す事故についても委員会でも検討する等、再発予防に努める。

8 その他特記事項	
	・感染予防(嘔吐対応)について※実演研修

### 運営推進会議等開催報告書

31年 1月 22日

事業所名	小規模特別養護老人ホーム ガリラヤ久米		
担当者	二神 靖夫	電話番号	970-9101

1 開催日時	平成 31年 1月 22日 10:00 ~ 11:30
--------	-----------------------------

2 開催場所	ガリラヤ久米 3F多目的ルーム
--------	-----------------

3 出席者	
(1)	グループホーム(家族)
7 人	"
	小規模特別養護老人ホーム(家族)
	民生委員
	特養ひろたケアマネージャー
	松山市介護保険課
	地域包括支援センター小野久米
(2) 職員	佐々木 信也 理事長
7 人	高橋 雅志 施設長
	上田 稔 グループホーム 計画作成担当者
	二神 靖夫 小規模特別養護老人ホーム 生活相談員
	横山 恵美 小規模特別養護老人ホーム 生活相談員
	和田 久美 小規模特別養護老人ホーム 看護主任補
	森永 有美 小規模特別養護老人ホーム 介護主任補

4 活動状況報告	別紙のとおり
----------	--------

5 活動状況に関する評価	様々な行事、活動をしており素晴らしい。研修についても実演があり分かりやすく、感染予防も徹底している。
--------------	--

6 主な要望、助言等	
①	活動報告スライドは季節を感じられるいろんな活動をしていて楽しそう。スライドで見て実感できた。 毎月いろんな行事があり、本人も楽しみにしており良かった。 前もって行事予定等が分かるとよい。施設からの郵送物に予定表等が入っているとよい。 感染症研修は実演の形で分かりやすかった。場所や利用者の想定、手順もあり、良かった。 死亡者、2週以上の入院者が出た場合や10名(半数)以上の感染者が出た場合等は市への報告を行うように。 第一発見者が新聞をとりあえずは置いて拡散を防ぐところもあるがどうか
②	感染予防徹底しているが、職員の入れ替わりがあった時には事例を伝えたりや研修をするように 良い研修だった。施設の中だけでなく地域へ広められるようなものもあれば良いと感じた。 家族が嘔吐し、家族内で感染が広がるということも経験したことがある。家でも気を付けていこうと思う。 下痢の場合の対応はどうされているか？
③	面会の度に本人の様子をしてくれて安心。 ここに入れて本当に良かった。面会のときの報告がありがたい。
④	事故報告、グループホームのヒヤリハットが少ないのでは？ヒヤリハットが出にくい環境でないように注意を。 特養の内出血がヒヤリハット報告にあるが、内出血なら事故になるので表記の仕方を検討するように。 グループホームの転倒、転倒未遂が多いが同じ利用者か、同じ方がいる場合は対応を考えないといけない。

7 要望、助言に対する考え方	
①	ご家族へ予定をお知らせできるように検討する。 吐物への初期対応として新聞等を吐物にかぶせる形を検討する。
②	流行期の研修に加え、中途採用者等への研修体系を検討する。 下痢については、下剤、体調等で慢性化しているものか感染によるものかの見極めが困難なところもあるが、 スタンダードプリコーションを徹底しつつ、慎重に見極めていく。
④	ヒヤリハットの区分け、表記方法について再度検討する。 繰り返す事故についても委員会でも検討する等、再発予防に努める。

8 その他特記事項	
	・感染予防(嘔吐対応)について※実演研修